知っておきたい火山の話

大涌谷のいま

No.04

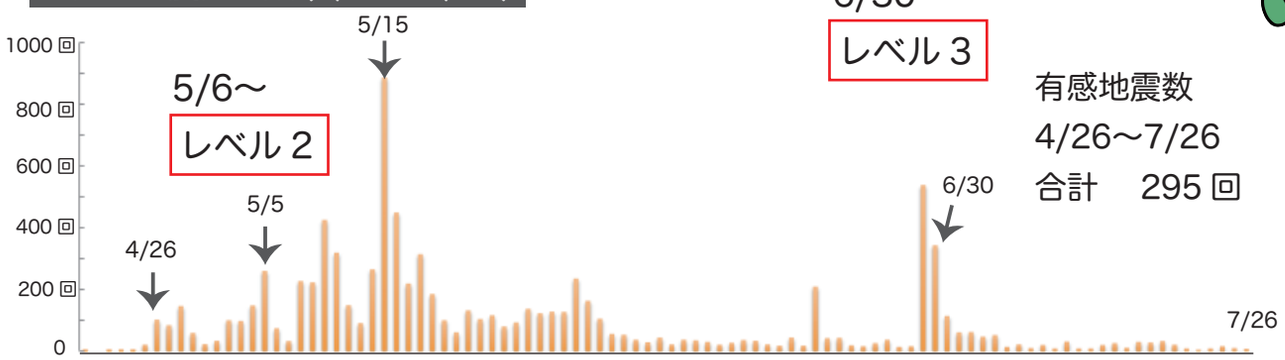
2015年8月3日

噴火警戒レベル３に引き上げられ一ヶ月が経過しました

地震数の変化（速報値）

７月に入って、１日あたりの火山性地震の発生数は減少しています。

日別の地震発生数 (4/20～7/26)



有感地震数
4/26～7/26
合計　295 回

温泉地学研究所ホームページより

火口が４個確認されました

(7 月 21 日現在)

噴石が飛ぶ様子 (6 月 30 日)

火口の様子 (6 月 30 日)

これまでの調査で、大涌谷の直径約 150m の範囲内に、火口４個、噴気孔のうち活発なものが 15 個確認されています。火口と噴気孔の違いは何でしょうか？周りに噴石等の噴出物が降り積もり噴石丘をつくっているものを火口、それ以外を噴気孔と呼び分けています。確認できる範囲では、噴石は火口から約 30m程度の距離まで落下しています。噴石丘の一部が崩壊するなど地形の変化も見られます。また、堆積物が熱水とともに流れ下る熱泥流という現象も小規模に発生しています。

参考：温泉地学研究所 報告書、(長井ほか，2015)

6 月 30 日より、噴火警戒レベル３（入山規制）が継続しています。

箱根ジオパーク
Hakone Geopark

発行 : 箱根ジオパーク推進協議会
http://www.hakone-geopark.jp